



区報あさみなみ
7.1号

安佐南区の人口 / 244,721人 (297人増)
安佐南区の世帯数 / 107,407世帯 (1,287世帯増)
令和3年5月末現在 (前年同月比)

あさみなみ

広報ひろしま
市民の市政

広島市安佐南区役所

検索

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/asaminamiku/>



安佐南区公式
Facebook

<https://www.facebook.com/asaminami.h>



①



②

- ①キュウリの赤ちゃんと黄色の花
- ②1本1本丁寧に収穫
- ③規格ごとに選別して箱詰め
- ④花付きのまま市場へ出荷



新鮮な地元の野菜を食べて、暑い夏を乗り切りましょう。

園農林課(☎831-4950、☎877-2299)



③



④

川内の朝採り キュウリ食べてみて!

ここが違う、朝採りの魅力

川内地区では30年以上前から「朝採りキュウリ」を出荷しています。通常は収穫の翌日以降に販売されますが、川内の朝採りキュウリは早朝に収穫し、その日のうちに市内スーパーの店頭に並びます。消費地に近いため、鮮度抜群のキュウリです。

例年5月中旬から8月中旬まで販売されています。



「ひろしまそだち」は広島市内の農林漁業者が市内で生産した産品などに表示できるシンボルマークです。

みずみずしく艶があり、イボがしっかりしているのが鮮度の良い証拠です

◎毎月第3日曜日はひろしま産day -「ひろしま産地消の日」です◎

新鮮なキュウリを食べてもらいたいから

朝採りキュウリの出荷がピークを迎える7月。川内地区で日々農業を営み、家族でキュウリを栽培している石光賢次さんは「毎日が時間との闘い」と話します。収穫作業は早朝4時半からスタート。賢次さんと両親、妻・博子さん(上写真③)の4人で行います。収穫後、選別、箱詰めをして7時半までに出荷場へ持っていきます。

多いときは1日で約500kgのキュウリを出荷。ハウス内での作業は、日中は40度を超えます。賢次さんは「キュウリは育てるのが難しく、つるの手入れなど手がかかります。過酷な作業もありますが、新鮮でおいしいキュウリを食べてもらうために、これからも愛情を込めて生産を続けていきたいです。ぜひ一度味わってみてください」と笑顔で話します。



野生動物による農作物被害をなくすために

シカやイノシシなど、野生動物による農作物への被害が広がっています。近年は住宅地付近に出没する相談も多く寄せられています。被害をなくすためには、野生動物を寄せ付けず環境づくりが大切です。
園農林課(☎831-4950、☎877-2299)

エサ場をなくす

収穫せずに放置した野菜や果物、生ごみなどが、気が付かないうちに野生動物を引き寄せるエサとなります。田畑や家の周りの環境に気を配り、野生動物のエサ場にしないようにしましょう。



農地を囲う

ワイヤーメッシュや電気柵などの防護柵で侵入を防ぐのが効果的です。野生動物の特徴を踏まえて、資材を正しく選び、隙間や柵の下などから侵入されないように適切に設置しましょう。

隠れ場所をなくす

野生動物は基本的に臆病な性格です。田畑の周辺の森ややぶ、耕作放棄地などは、安心して田畑に近づける場所。適切に草刈りや伐採をして隠れ場所をなくし、追い払いをして人は怖いと思わせる環境をつくりましょう。



有害鳥獣駆除にご理解を!

区では、地元猟友会の協力を得て有害鳥獣駆除班を編成し、猟銃などによる駆除を実施しています。駆除班員は目立つようにオレンジ色のベストを着用し、事故防止に細心の注意を払い活動しています。ご理解とご協力をお願いします。

